

頭痛のはなし

「頭痛持ち」の方は意外に多くいます。

通常、『解熱鎮痛剤』を使用して対応されています。

頭痛が長期化すると頭の中に異常があるのではないかと心配になり、脳神経外科を受診し頭部CT検査を受ける方も時々あります。

頭の中に異常（脳出血、脳梗塞、脳腫瘍、脳内奇形など）があって頭痛を起している方は、非常に数は少ないです。

頭痛持ちの方は頭痛の原因を2つ以上併せ持っている可能性があります。

解熱鎮痛剤だけに頼る前に、以下の漢方薬を頓服的に試してみてください。

自分の体調、体質に合わせて、頭痛をコントロールできる可能性があります。



(1) 葛根湯 / TY-027 桂枝加葛根湯 (東洋薬行)

肩コリ、後頸部、項部（うなじ）が凝る人

2包 ずつ頓服します。

TY-027 桂枝加葛根湯 (東洋薬行)

葛根湯の中に麻黄が含まれるので、胃に障る、吐き気、動悸が起こる人がいます。
葛根湯の麻黄抜きになります。



(31) 呉茱萸湯

誰が飲んでも苦い漢方薬です。片頭痛に使います。

トリブタン製剤などの併用も可。

発作が起こってからでも間に合います。

2包 ずつ頓服します。



(124) 川芎茶調散

月経（関連）片頭痛に使います。

カゼの初期の頭痛にも適応があります。

2包 ずつ頓服します。



(17) 五苓散

低気圧頭痛、熱中症、二日酔いなどの頭痛に使用します。

2包 ずつ頓服します。



最近の外来状況

発熱している方が来院されています。

夏カゼ、新型コロナ、RSウイルス、胃腸カゼが混在している状況です。

今年は2年半ぶりに夏カゼが流行しています。

発熱している人がすべてコロナではありません。

コロナだからと言って、恐れることもない人が大半です。

「感染力の強い、重症度の低いカゼ」といったところです。

ただし、発熱1、2日目はインフルエンザと同様の症状を示す人がいます（3年前から指摘されている）。

しかし、発症から3日目、4日目には自然経過で発熱して、全身状態が良好となります。

(27) 麻黄湯と(28) 越婢加朮湯を同量合わせて、2時間おきに6回内服します。

早いと3、4回目で発熱傾向が見られます。

その後は咽頭痛を伴うことが多いので、

(109) 小柴胡湯加桔梗石膏で仕上げをします。



お知らせ

岐阜市の漢方外来 8月20日(土)、27日(土)

時間: 14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市鍵屋東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 8月6日(土)

時間: 19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院

休診のお知らせ

8月12日(金), 8月13日(土), 8月17日(水)